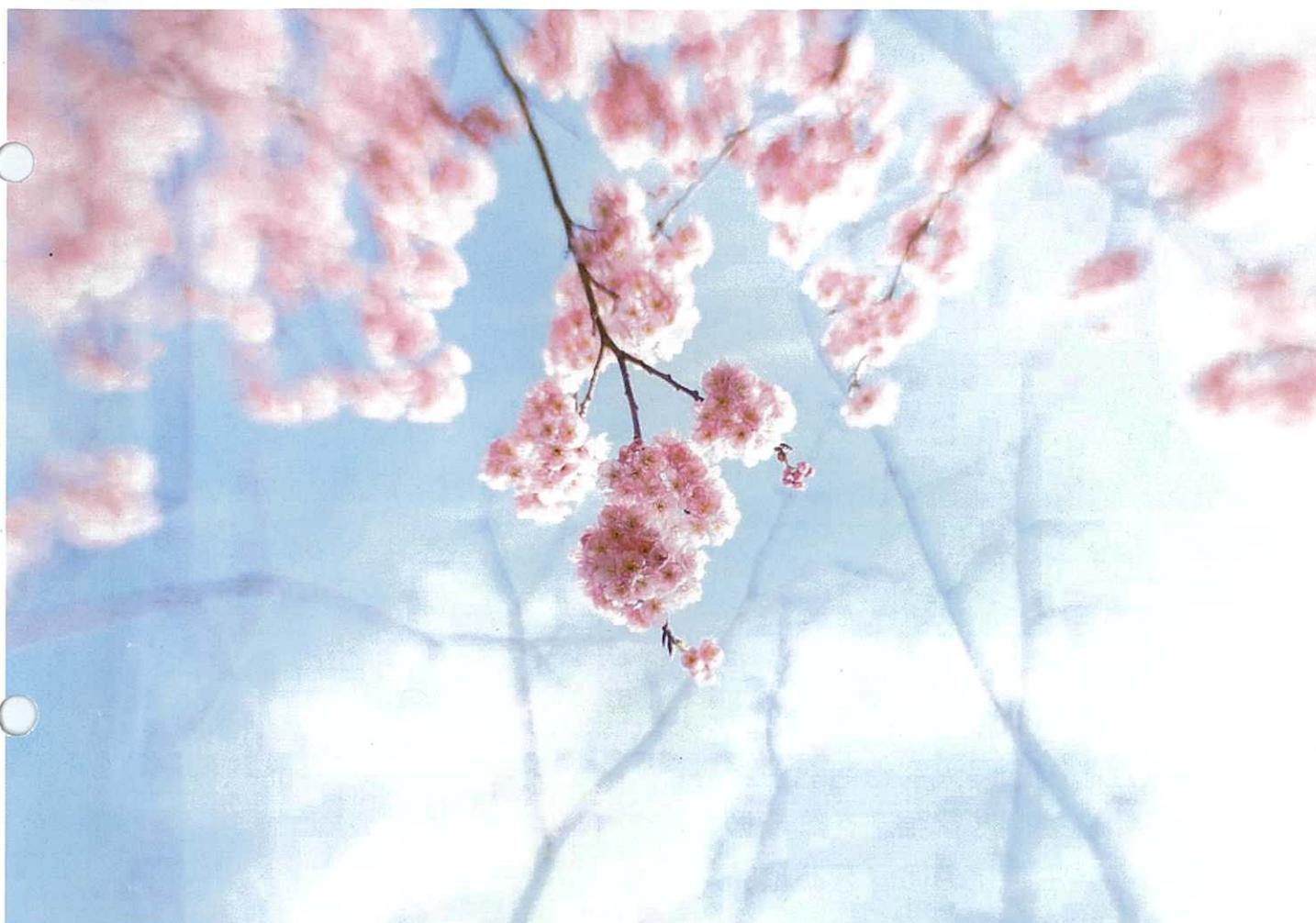


家畜衛生情報誌

『 一 支 国 』

2015. 春号



壱岐振興局農林水産部 壱岐家畜保健衛生所

〒811-5734 長崎県壱岐市芦辺町国分本村触1385-1 TEL : (0920)45-3031

E-mail : s13230@pref.nagasaki.lg.jp

FAX : (0920)45-3386

~Website~

<http://www.n-nourin.jp/ah/agrilink/hukyuu/iki/kakuka/3eiseika.html>

# 韓国で口蹄疫が継続的に発生！

韓国では、昨年7月に3年3か月ぶりに口蹄疫の発生が確認されて以降、発生が拡大しています。

さらに、他の東アジア諸国でも発生が続いていることから、わが国へ侵入する可能性が極めて高い状況が続いています。今一度、発生予防の徹底をお願いします。

～農家の皆様へのお願い～

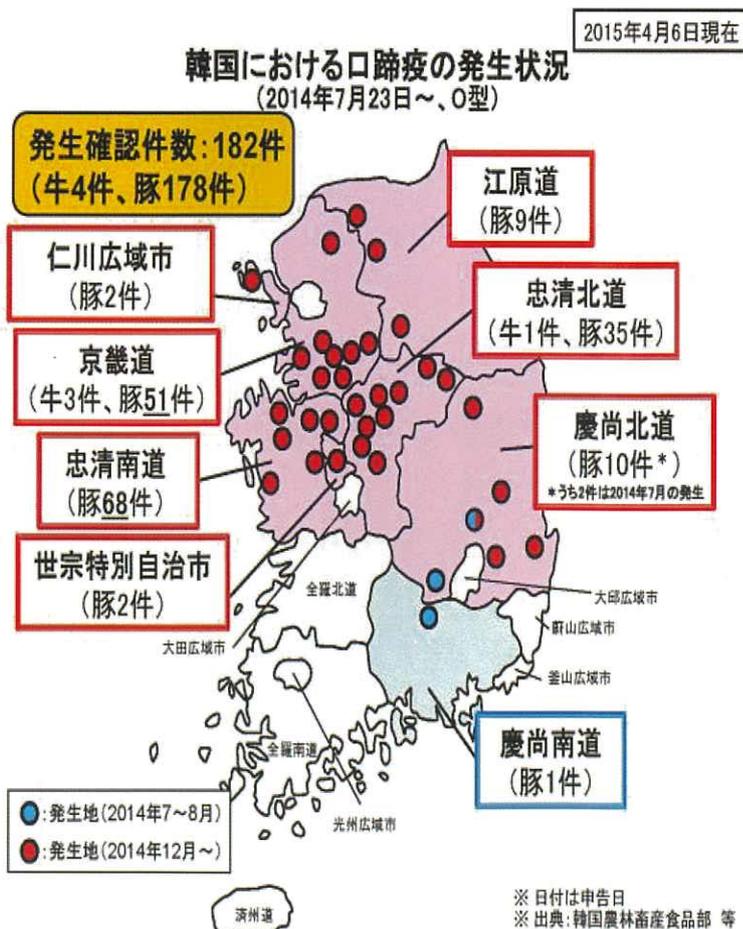
- ①消毒設備の設置や消毒の励行をしてください。
- ②発生国への渡航は可能な限り自粛してください。
- ③野生動物の侵入防止など飼養衛生管理基準を遵守してください。
- ④家畜に異状がみられたら、直ちに家畜保健衛生所へ通報をお願いします。

## 台湾で高病原性鳥インフルエンザが大流行！

本年1月以降、台湾で高病原性鳥インフルエンザが大流行しています。夏鳥（ツバメ等）の渡りで、春先以降もウイルスが国内に侵入する可能性があります。引き続き、緊張感を維持し農場における発生防止の徹底をお願いします。

※以下の点について、再度確認をお願いします！

- ①防鳥ネットの点検、整備
- ②飼養衛生管理基準遵守の徹底
- ③異状鶏の早期通報



## 今年も多くの参加者！冬季畜産講習会開催

毎冬、壱岐市農協が実施している冬季畜産講習会に説明役として家畜保健衛生所も参加させていただきました。管内9か所で360人の農家に集まっていたが、農協の説明に続き、今年は口蹄疫の侵入防止対策と肉用牛の繁殖成績向上について説明をしました。

韓国の口蹄疫は拡大していることから関心も高く、ワクチン接種による清浄化は困難なことをメインに、今後も農家での侵入防止対策が重要であることを説明。繁殖成績向上については大型の繁殖台帳を配布し、発情観察のポイント、記帳が大切なこと、また記帳によりそれぞれの農家の改善点が浮かび上がることを説明しました。熱心に聴いていただきましたが配布資料が無いことが若干ご不満だったでしょうか。今後もこのような機会があれば参加したいと思います。



## 平成26年度 BSE検査成績

法の改正により、平成27年4月1日から、死亡牛のBSE検査対象月齢が24か月齢以上から、48か月齢以上に変更になりました。48か月齢以上の死亡牛はBSEの検査が義務付けられていますので、死亡牛の月齢の確認をよろしくお願いいたします。

家畜の死体は産業廃棄物であり、自己の土地であっても、その死体を埋却することは違法です。

下表は、壱岐における死亡牛のBSE検査頭数（過去3年分）です。平成26年度は92頭の死亡牛のBSE検査を実施し、全頭陰性でした。

(単位：頭)

年度\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
H26	10	9	10	8	4	4	6	7	9	9	9	7	92
H25	9	10	8	10	11	7	7	0	8	7	6	9	92
H24	4	10	10	11	9	5	8	5	9	10	11	7	99



# 平成26年 精液利用ベスト10

吉岐地区での総利用本数は9,346本（対前年254本減）、このうち県有牛は5,688本（60.9%）で、前年比+1.9ポイントでした。

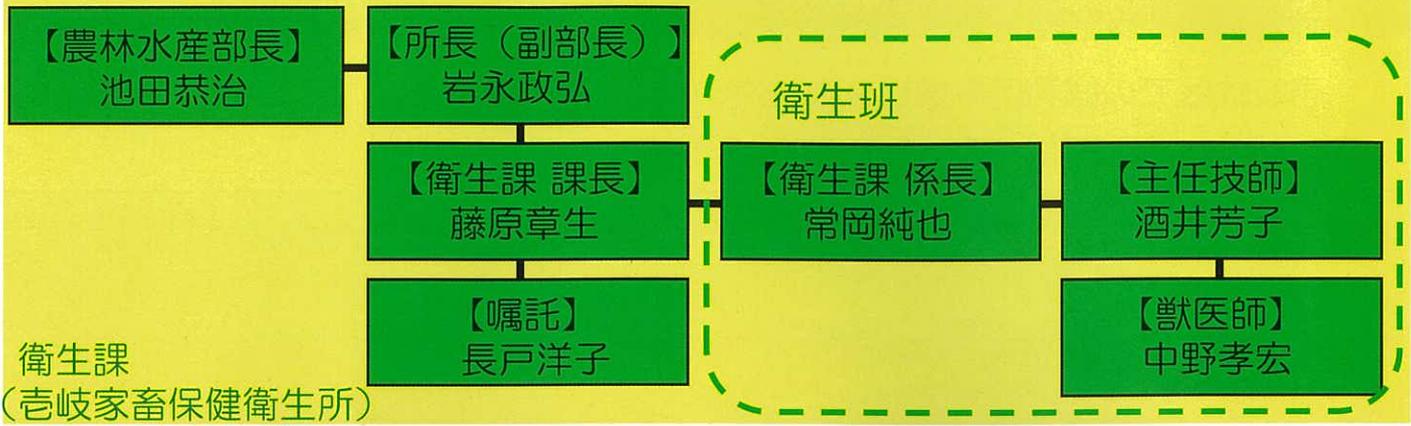
No.	種雄牛	所有者	利用本数	シェア (%)	前年
1	平茂晴	長崎県	3,279	35.1	→ (1位)
2	金太郎3	長崎県	893	9.6	↑ (3位)
3	勝乃勝	長崎県	584	6.2	↑ (5位)
4	安福久	鹿児島県 徳重	577	6.2	→
5	美国桜	鹿児島県 徳重	536	5.7	↑ (10位)
6	百合茂	鹿児島県 徳重	520	5.6	→
7	隆之国	鹿児島県 羽子田	465	5.0	↓ (2位)
8	安平栄	長崎県	365	3.9	↑ (11位)
9	美津照重	家畜改良事業団	294	3.1	↑ (14位)
10	福華1	鹿児島県 徳重	253	2.7	↑ (17位)

## 牛異常産ワクチンはお済みですか？

牛のウイルス性異常産（アカバネ病、アイノウイルス感染症など）の多くは、蚊やヌカカなどの吸血昆虫によって媒介されます。吸血昆虫の活動は、春先から徐々に活発になることから、ウイルス性異常産を予防するためには、4～5月頃までに牛異常産ワクチンの接種を済ませておくことが重要です。農場内にワクチン接種の対象となる牛が残っていないか、今一度確認し、大切な牛をウイルス性異常産による被害から守りましょう。



# 平成27年度 組織図



県南家保（島原市）より、平成16年3月以来11年ぶりに舞い戻ってきました。集合指導など、吉崎の島を走り回っていました。早速赴任最初の土・日、カメラ片手に道を思い出しながら車を走らせ、半城湾ほとりの満開の桜、チューリップが目にとまり、カメラに収めました。島内の農業、産業の状況を早めに見て回りたいと思います。どうかよろしくお願いします。（岩永）



吉崎に12年ぶりに帰ってきました。また皆さんと一緒に仕事ができることをうれしく思っています。吉崎を離れた12年間に経験したことを活かして、少しでも吉崎の畜産に貢献できるよう、頑張りますのでよろしくお願いします。（常岡）

## 転出者からひとこと



このたび、県北家保（佐世保市）へ転出となりました。昭和61年にはじめて吉崎で県職員生活を始め、2回勤務、通算6年半の吉崎生活を送りました。新任時の同世代が責任者となり時代の流れを感じましたが、仕事はしやすく無理も聞いていただきました。お世話になりました。松本 輝久（所長）



中央家保（諫早市）へ転勤になりました。仕事はもちろん、私生活も単身赴任で釣り三昧の楽しい3年間でした。機会がありましたら、また帰ってきます。ありがとうございました。またね！森田 光太郎（係長）



関係者の皆様、農家の皆様には3年間大変お世話になりました。和牛の本場で業務に係われた事は私にとって貴重な経験となりました。また農家の方々には大変親切にいただき、吉崎の人の優しさを感じました。今回、一身上の都合で退職し吉崎を離れますが、3年間で受けたこの御恩は忘れません。島外では吉崎の素晴らしさを伝えていきたいと思ひます。お世話になり有難うございました。伊勢 喬太（獣医師）

## つばやき



ぽかぽか陽気に誘われて、花々は咲き、虫たちも元気に動きまわる季節になりました。わたしたちも花や虫と同様に、心機一転、新たな気持ちを持って業務に取り組みたいと思ひます。赴任して2年目に突入し、業務の量も責任も今まで以上になるのですが、皆様の気持ちに少しでも応えられるように精一杯努めたいと思ひます。（な）